

大会名	種目	成績
県西中学学年別大会 (5/3)	中1男子	優勝 涌井颯輝 準優勝 鍛代龍吾 3位 南谷倅輝・小林祐太 5位 高梨温輝
	中2男子	準優勝 高橋稜央 5位 後上里江真・井上来夢
	中3男子	優勝 沖裕介 準優勝 芹澤史晃 3位 金子正佳
	中2女子	5位 飯沼遥
	中3女子	優勝 スコット芽唯 準優勝 北川梨緒 3位 合田菜桜
小田原市春季クラス別団体 全日本ホカバ県予選	男子6部	優勝 たなかクラブCチーム (伊東幹人・矢後流歌・原孜斗・涌井唯羽)
	男子カブ	3位 涌井唯羽 (県代表)
	女子ホープス	8位 篠崎美姫 (関東ホープス出場)
全日本クラブチーム県予選 神奈川県強化リーグ	女子2部	県代表 たなかクラブ (高岩美穂・安藤瞳・斉藤舞・武松美衣・高岩萌枝)
	個人戦	男子1部 1位 天野宏哉 女子3部 1位 宮本光里
平塚市長杯団体戦	男子1部	優勝 たなかクラブA (川口拓・南木貴充・鈴木謙太・佐々木雅也)
	男子2部	準優勝 たなかクラブC (高橋聖那・篠崎悠太・涌井颯輝・鍛代龍吾)
長野フレンドリーマッチ	男子団体	鴨宮中学 初日3位 2日目優勝 (遠藤・篠崎・竹松・沖・高橋・川久保)

この大会は県大会1部に出場する選手の予選を兼ねています。今年はクラブから県大会に16名が代表になりました。毎年数名が入賞しており今年も期待しています。

県西学年別大会

県大会には各学年ともベスト8が出場します

県大会は1部と2部に分かれており、県大会ベスト16や県代表などの実績のある選手は地区予選なしで県大会2部に出場します。今年は2部にたなかクラブから8名が出場します。この大会は32年前に私が県協会普及委員の時に創設しました。

この日は接戦が多くありましたが、その中でも3年男女はフルセットの大接戦が続き、最後まで優勝の行方が分かりませんでした。1年生は初めての中学生大会で緊張したと思います。県大会ではがむしゃらに挑戦する気持ちが大切です。全力を尽くすことで結果はついてきます



3年優勝沖 準優勝芹澤 3位金子



3年優勝スコット 準優勝北川 3位合田 5位岡



2年準優勝高橋 5位後上里 5位井上



1年優勝涌井 準優勝鍛代 3位小林 3位南谷 5位高梨



1年女子 5位飯沼

涌井唯羽君が全日本ホカバ県代表

唯羽君は卓球が大好きで4年生ながらとても良く練習します。その努力で全日本出場を勝ち取りました。7月の神戸での全日本は予選リーグを突破し決勝トーナメント進出が目標です。



全日本クラブチーム選手権 たなかクラブ女子2年連続県代表

神奈川県はチーム数が多い上にレベルが高く県代表はかなり厳しいです。その中で選手たちが良く頑張りを2年連続県代表になりました。祝勝会には代表を逃した男子も合流。来年はアベック代表を目指します。



長野フレンドリーマッチ 鴨宮中男子が優勝

神奈川県新人戦2位と3位の鴨宮中男女チームは招待校として参加しました。この大会は関東甲信越の上位チームを対象にしているのでレベルも高くとても良い経験が出来ました。特に男子は各選手の技術が着実に上達しており、初日3位、二日目は優勝する素晴らしい成績でした。女子は技術の上達は見られたがチームとして勝つための課題が残りました。



小田原春季クラス別団体

男子6部に出場した小学生チームが、おじさんチームなどにも勝って優勝しました。将来有望な皆さんはたくさん大会に出場して、色々な選手に相手をして頂いて数多く試合をすることで自分の技術が磨かれていきます。



伊東幹人 矢後流歌 涌井唯羽 原孜斗

平塚市長杯団体戦

コーチ3人が中心のたなかクラブAチームが優勝しました。いつも練習相手をして頂いても当たり前と思っているかもしれませんが、このような強い選手達に指導して頂いていることに感謝の気持ちを忘れてはいけません。

男子2部でたなかクラブCチームが準優勝しました。Cチームは鴨宮中学3年生2人と1年生2人のチームでしたが良く頑張りました。二人の3年生は中学から卓球を始めましたが真面目に努力するのでメキメキ上達しています。



南木貴充 鈴木謙太 川口拓 佐々木雅也



高橋聖那 篠崎悠太 鍛代龍吾 涌井颯輝

卓球王国でたなかクラブ紹介

卓球王国平成30年7月号と8月号の2回に分けてたなかクラブが紹介されます。

平成29年度のたなかクラブの成績は、クラブの卒業生を含めて全日本選手権、国体、インターハイ、全日本クラブチーム選手権、全国中学、全日本カデット、関東中学生大会などを含めて12種目で神奈川県代表になっています。

現在、神奈川県高校3冠王の天野宏哉君、インターハイダブルス準優勝杉本恵さんなど、卒業生で強くなっている選手がいます。

そのような成績が目まぐるしく今回の「ゼロから始めて強くなる」クラブの紹介となりました。

たなかクラブは基本を重視し、選手の個性を伸ばすこと、卓球の楽しさを知ってもらい、卓球を通じて人間的にも成長して欲しいと思っています。そのためにプレーヤーとしても人間的にも素晴らしい若いコーチ達がお手伝いをしてれています。現在の成績は彼らのお蔭です。選手の個性を生かした特徴ある選手を育てることは難しいことですが、それがたなかクラブの使命だと考えています。

1. 型にはめずに選手を育てる
2. 目標を生活の中に落とし込む
3. 短時間で質の高い練習を目指す
4. ジュニアBの練習
5. 記録し、言葉にすることが上達を早める

新ゼロから始めて強くなる!

初心者がすぐに強くなる練習法と指導術

初心者でもすぐに強くなる学校卓球部やクラブチームの、強くなるノウハウを紹介する企画。今回は神奈川県西部から数多くの全国大会出場者を輩出する、たなかクラブの練習に迫る。

第27回 神奈川県・小田原市 たなかクラブ その①

個性を尊重したのびのび指導

たなかクラブのコーチ、田中昇氏。29歳の時に卓球場「たなか卓球」をオープンし、その後卓球専門店の開業。以降、30年以上にわたってたなかクラブで指導にあたり、これまで50名以上の選手を全国大会出場に導いてきた。自身も選手として全日本社会人年代別40歳以上の2、3年連続ベストメンバー、全日本リーグ入賞12回などの輝かしい実績を残している。

魂入球で ジュニアBの選手たち

“たなかクラブ”はどんなチーム?